

いよいよホ号棟に

高齢者対策委員会(仮称)が組織化されます。

9月の【ときわぎ国領】との第1回懇談会でも言明いたしました、【市役所】、【ときわぎ国領】との間のパイプ役として、生活の場【ホ号棟】に高齢者の明るい未来をともに創り上げることを目的とした【高齢者対策委員会・仮称】設置の準備会が動き始めることになりました。

理事会から4名と一般居住者から3名の計7名で、準備会をスタートさせていきます。

何からどのように進めていけばよいのか、まったくわからない状態ですが、業務上の経験者や、実際に高齢者の介護、介助を行った人たちの力を借りながら、地道に学習し、組織化を進めたいと思います。

【ときわぎ国領】からも、日常的に支援を頼めそうなので、心強いです。

【市役所】よりも、そして、【ときわぎ国領】よりも、まずホ号棟管理事務所に行って相談をしたい。

自分ではどうしてよいかわからないので、どうすればよいのかを調べてほしいのだが…。

など一番身近な相談機関、調整機関としての任務を果たせたらな～、と考えています。

身近なことや、体験上の知識で解決できることなどは、ホ号棟の段階(対策委員会)で処理を済ませ、【ときわぎ国領】との連絡が必要なときには、相談者の代弁者ともなって、便宜を図ることなどができるようになればよい、などとも思います。

何はともあれ、基礎的学習から始めていくような状態ですから、まだお役に立つことに時間がかかるかもしれませんが、ご期待ください。

